

各種防災に関する児童の安全確保について

【1】警報・注意報発令《神奈川県全域及び神奈川県東部、横浜・川崎地域》

時間	警報・注意報発令状況	保護者の対応	学校の対応		
			授業等の扱い	給食	出席等の扱い
登校前 午前7時の時点	暴風警報 大雪警報 特別警報	登校させない	休校 ⇒学校からの連絡はなし	中止	欠席にならない
	それ以外の警報・注意報	登校上安全と判断した場合登校させる。	原則として平常通り ⇒学校からの連絡はなし	平常通り	遅刻にならない
登校後	暴風警報 大雪警報 特別警報	登校後に大雪警報が発表された場合は、集団（方面別）下校または保護者が児童を引き取る。	授業を打ち切り、メール配信または緊急時学校連絡網にて、集団下校か引き取りの連絡を流す	状況を見ながら対応	早退にならない
	それ以外の警報・注意報		状況によっては、授業を打ち切り、メール配信または緊急時学校連絡網等にて、集団下校か引き取りの連絡を流す		

【2】大規模地震警戒宣言発令等（永野小学校は大規模地震発生の際は、地域の避難所となります）

時間	警戒宣言発令状況等	保護者の対応	学校の対応		
			授業等の扱い	給食	出席等の扱い
登校前	警戒宣言発令 大規模地震発生	登校させない	休校 ⇒学校からの連絡はなし	中止	欠席にならない
登校後	警戒宣言発令 大規模地震発生	家庭の方の安全を確認の上学校（クラス）へ行き、児童を引き取る	授業は打ち切り ⇒学校からの連絡はなし	中止	早退にならない

※午前7:00の時点で暴風警報が発令された場合は、学校からの連絡はありません。緊急な場合（特別警報など）には、学校からメール配信で情報をお伝えする場合があります。しかし、様々な場面を想定すると発信ができない・発信してもなかなか届かないということも考えられます。保護者の方はテレビやラジオ等の正確な情報を収集し、このプリントに従って対応してください。なお、緊急時の電話連絡は混乱原因になりますので、ご遠慮くださいますようお願いいたします。また、パソコンで以下のように警報を確認することもできます。

◆例「気象庁」から横浜の警報情報検索「警報・注意報」→「日本地図」→「関東地方」→「横浜」検索

※富士山の噴火による「火山灰」の降灰予報・・・午前7時の段階で市内に降灰予報が発表された場合は臨時休校になります。原則として、大量の降灰が継続している間は休校。

※大規模地震発生とは、横浜市内一ヶ所でも震度5強を観測した場合をさします。